伐 採 及 び 伐 採 後 の 造 林 の 届 出 書

令和　　年　　月　　日

津　山　市　長　殿

（伐採する者）届出人　住所

氏名

法人にあつては、名称及び代表者の氏名

電話　（　　　　）　　　－

（伐採後の造林をする者）届出人　住所

氏名

法人にあつては、名称及び代表者の氏名

電話　（　　　　）　　　－

　次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ま

す。

　本伐採は届出者である（のうち）　　　　　　　　が所有する立木（又は長期受委託契約

に基づき　　　　　　　　が所有する立木）を伐採するものです。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| 市　　　　　町大字　　　　字　　　　　地番郡　　　　　村 |

２　伐採及び伐採後造林の計画

別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

３　備考

|  |
| --- |
| 適合通知書等の希望の有無（ 有・無 ） |

添付書類

①　届出の対象となる森林の位置図及び区域図（伐採区域や隣接する土地との境界等を明示した

字図や森林計画図等）

②　届出者が法人の場合は、当該法人の登記事項証明書等

法人でない団体の場合は、代表者の氏名、当該団体の組織及び運営に関する定めを記載した

書類

個人の場合は、氏名及び住所を証する書類

※次の台帳等で確認できる場合は添付を省略可能とする。（該当に○）

ア　津山市が有する住民基本台帳（届出者（個人）が市内在住の場合）

イ　国税庁法人番号公表サイト（届出者が法人の場合）

③　届出の対象となる森林の伐採に関し、他の行政庁の免許、許可、認可その他の処分を必要と

する場合は、申請状況を記載した書類（参考様式１を添付してください）

④　届出の対象となる森林の土地の登記事項証明書等

※林地台帳または直近に提出した森林の土地の所有者届出書で所有者が確認できることを記載

した書類を添付することで省略可能とする。（参考様式２を添付してください）

（事前に電話等で津山市森林課（TEL 0868-32-2078）までご確認ください。）

⑤　届出者が届出の対象となる森林の土地の所有者でない場合は、当該森林を伐採する権限を有

することを証する書類（立木の売買契約書等）

※口頭契約の場合は参考様式あり（参考様式３、参考様式４などを添付してください）

⑥　届出者が届出の対象となる森林の土地に隣接する森林の土地の所有者と境界の確認を行った

ことを証する書類

（参考様式５または参考様式６を添付してください）

※次の場合は添付を省略可能とする。（該当に○）

ア　届出の対象となる森林の土地が、隣接する森林の土地の境界に接していないことが

明らかな場合（境界に関する争いが生じた場合には届出者の責任において対応を行うも

の）

イ　地形、地物その他土地の範囲を明示するのに適当なものにより、届出の対象となる

森林の土地が隣接する森林の土地との境界が明らかな場合（境界に関する争いが生じた

場合には届出者の責任において対応を行うもの）

ウ　届出の対象となる森林の土地に隣接する森林の土地の所有者と境界の確認を確実に

行うと認められる場合（参考様式７を添付してください）

⑦　主伐の場合には、伐採及び集材に係るチェックリスト、搬出計画図

⑧　その他、市長が必要と認める書類

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採する者と伐採後の造林をする者とが異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつて

は、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で、連名で提出すること。

３　伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は、小数第２

位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採する者と伐採後の造林をする者とが異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で、連名で提出すること。

３　伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

（別添）

伐 採 計 画 書

（伐採する者）住所

氏名

電話　（　　　　）　　　－

１　伐採の計画

|  |  |
| --- | --- |
| 伐採面積 | ha（うち人工林　　　ha、天然林　　　ha） |
| 伐採方法 | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 | 伐採率 | ％ |
| 作 業 委 託 先 |  |
| 伐採樹種 |  |
| 伐採齢 |  |
| 伐採の期間 | 令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日 |
| 集材方法 | 集材路・架線・その他（　　　　　　　　　　） |
|  | 集材路の場合予定幅員・延長 | 幅員　　　ｍ　・　延長　　　ｍ |

２　備考

|  |
| --- |
|  |

注意事項

１　伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

２　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

３　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

４　伐採の期間が１年を超える場合においては、年次別に記載すること。

（別添）

造 林 計 画 書

（造林する者）住所

氏名

電話　（　　　　）　　　－

１　伐採後の造林の計画

（1）造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |
| --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | ha |
| 人工播種による面積（Ｂ） | ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・その他（ 　　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） |  　 ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・その他（ 　　）・なし |

（2）造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の植栽本数 | 作　業委託先 | 鳥獣害対　策 |
| 人工造林（植栽・人工播種） | 令和 　年 　月 　日～令和 　年 　月 　日 |  | ha | 本 |  |  |
| 天然更新（ぼう芽更新・天然下種更新） | 令和 　年 　月 　日～令和 　年 　月 　日 |  |  |  |  |  |
|  | ５年後において適確な更新がなされない場合 | 令和 　年 　月 　日～令和 　年 　月 　日 |  |  |  |  |  |

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
| --- |
|  |

２　備考

|  |
| --- |
|  |

注意事項

１ 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

２　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において

・植栽によらなければ適確な更新が困難な森林　又は

・木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあつて、植栽による更新を行う森林

として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

３　造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

４　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。

５　鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

６　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。